

# FUNKIST 染谷西郷さんによる人権講演会を開催しました

令和5年10月19日（木） 5,6限

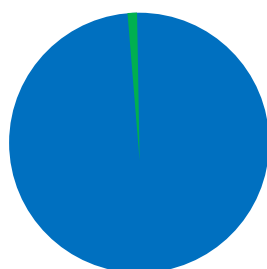
今年度の人権講演会は、FUNKISTのボーカルリーダーの染谷西郷さんに、ご自身の経験をもとに差別と人権、国際問題や長年の夢が叶うまでのストーリーをご講演いただきました。

サッカーJ2「V・ファーレン長崎」の応援ソング「V-ROAD」の熱唱と大きな手拍子から始まりました。

子どもの時代から差別を受け苦しんだこと、・・・音楽の力で克服していったこと、アニメ「FAIRY TAIL」オープニングテーマ、THE BLUE HEARTSの「青空」の熱唱、サッカーワールドカップ南アフリカ大会のスタジアム前でゲリラライブを決行、南アフリカの観客・日本のサポーター・デンマークのサポーター、・・・肌の色、国・関係なく一つになったこと、それが南アフリカ大会の13の試合会場でのライブにつながり、さらに大きな世界に広がっていったこと、・・・その後の音楽の力で世界を動かしていく現在の活動に至るまでを、ライブを中心に熱演いただきました。



今回の講演会は、直後に「生徒アンケート」を全員に取っています。



● 非常に良かった	97.6%
● やや良かった	2.4%
● あまりよくなかった	0%
● よくなかった	0%

「生徒アンケート」の結果は、肯定的回答が100%で、「非常に良かった」が97.6%でした。

以下、「生徒アンケート」の記述より抜粋した内容です。

- ・すごい人だった
- ・音楽の力は自分が思っている以上に強いこと
- ・自分の声掛けは誰かの助けになること
- ・差別をしている人やひとりぼっちにさせられている人は話しかけようと思いました
- ・夢は諦めなければ叶うこと
- ・差別ダメ絶対
- ・努力は報われないかもしれないけど、夢に向かって努力すれば近づくということ
- ・世界中の人々が手を取り合うことの大切さ
- ・いつもの人権学習とは全然違って友達存在や夢を諦めないことのすばらしさを知った
- ・音楽は問答無用で楽しいということ！
- ・人権というちょっと難しいことについてわかりやすく自身の経験についても話してくれて、人生についても話してくれた
- ・夢を追い続ければ見えてくるものがあることを学んだ
- ・差別は人の意識によって生まれるのだと思いました
- ・肌の色によるたくさんの差別があったことを知りました
- ・みんな同じ地球人だということ
- ・やっぱり音楽は国境を越えるものだと感動しました
- ・人権は自分の身近にあること
- ・おじいさんとおばあさんの話のときに、命がけで繋いでくれた手という言葉が出てきてとても心を打たれました 夢を諦めない気持ちがとても大事なんだと改めて感じました
- ・諦めなければ夢は叶うんだということ
- ・人は劣っているなどの差はないということ
- ・夢を叶えている人は最後まで諦めなかった人しかいないこと
- ・誰にでも夢を叶えることができるチャンスがあるので諦めないことが大切だと思いました
- ・困ってる仲間が居たら手を差し伸べてあげることが大切だと改めて理解しました
- ・南アフリカでアパルトヘイトが始まったきっかけや終わり方を初めて知りました
- ・人権というのどういうものかというのが理解できたのかなと思いました
- ・もっと前の話だと思ってたからびっくりした
- ・染谷さんのお話はとても感情が乗っていて聞きやすかったです 私達だけでなく先生方にも視点が向いていてよかった
- ・人権はとても深いことがわかりました 宮田さんみたいになりたいと思いました
- ・自分一人で他人の命を助けることができるということ
- ・夢を諦めない限り実現できることがわかったので受験頑張ろうと思いました
- ・「人権」は難しく考え過ぎるのではなく、思いやりを持つことが大切だと感じた
- ・人権は決して他人事ではなく、身の回りに常に存在するという事 自分の勇気が人の命も救うことができるということ



- ・差別がどれほど恐ろしいか
- ・周りの子を大切に手を差し伸べること
- ・国境を超えた人のつながりの大切さがわかった
- ・人種差別(アパルトヘイト)について、教科書でしか聞いたことなかったのに、こんなに深く聞くことができていい経験になった
- ・どれほど大きな夢でも諦めなければ、自分を信じつづければ叶うということ
- ・人権というのは堅いことではなく日常での周りの人との関わり方が関係しているなと感じた
- ・今ある毎日は当たり前じゃないということ
- ・自分の居場所が誰かの居場所になるかもしれないこと
- ・差別はどんな理由があってもしてはいけない 音楽は人の心をつなげる
- ・肌の色など関係なくみんな協力したり、仲良くすることが大切
- ・色なんてどうでもいい
- ・些細な一言で人の命を助けることもできるし簡単に傷つけることもある
- ・夢は必ず叶う訳では無いが、夢を叶えた人は必ず夢を最後まで諦めなかったものだけである
- ・明日が絶対にあるということは皆平等に訪れるものではないと実感しました
- ・アパルトヘイトについて歴史しか知らなかったけど南アフリカで起こったことを知ってこんなにも複雑な話だとは思わなかったです
- ・手を差し伸べてくれる周りの人を大切にすることまた、自分が手を差し伸べられるような人間になること
- ・もっと難しいことかと思っていたけど身近にある簡単ことでも無意識に人権に関わっていると知れた
- ・夜中に襲撃されて森で暮らせと言われるようなことが本当にあるんだとおもいました
- ・人をいじめたり差別をしたりするのは絶対に駄目だということ
- ・世界中の人々全員が手を取り合って今の時代を生きていくことが最も大切なことだということ
- ・人間は少し自分と違うだけで差別して平気で人を傷つけることがある事に気づいた
- ・ひとりの友達とかに「大丈夫？」と声をかけてあげるだけで一つの命を救えるということ
- ・自分でも人を助ける力があること
- ・アパルトヘイトは中学の歴史でやったけれど、とても昔のことだと思っていました でも結構最近まであったことを知って驚きました。
- ・人権と聞いて難しく考えずに身近なところでもできることがあると感じました
- ・今日、話していたことすべてが心に響いた
- ・つらいことはたくさんある、でも諦めないことで見れる景色もある
- ・当たりの生活が当たり前のことではないと思った
- ・自分のちっさい手の中には誰かを助ける力があるということ
- ・人権は難しくなくすぐそこにあるもの
- ・人権講演会と聞いていたので、とても難しい話だと思っていたけどいざ始まるとそんなことは一切なく歌とともにお話してくれてすごくいい時間だったなと思いました
- ・今日人権の話をしてくださった方の過去を聞いて自分がどれだけ差別について無知だったかを知りました
- ・人権は難しいことではなく目の前の友達や家族を大切にすることが大切ということ
- ・ちょっとした行動がこれからを変えるということ



- ・白人が黒人を差別することだけが差別ではないこと
- ・自分の身近なところに差別やいじめなどはありませんが、自分もそれに加担している恐れがあるし世の中の問題となっている差別もあまり話されていないだけで全然終わっていない事はあると思う
- ・僕たちは同じ地球人
- ・生きることの素晴らしさ 夢を諦めないこと
- ・人権が主な内容だったのだと思いますが、どちらかというと人生観を聞いた感じで個人的には好きでした
- ・染谷さんの実体験を聞いて人種差別がどれだけ良くないことを再確認させられました
- ・人権問題がこんなにも近くにあったんだとわかりました。そして、諦めないことが大切だということがわかりました
- ・歌はやっぱ最高ってこと
- ・友達を大切にしようと思った
- ・今回の講演を聞いて人権っていうのは小難しいことだと思っていたけれど、そんなことはなくてもっと身近なことなのかもしれないと理解した
- ・自分が行動して誰かの命を救うこともあることをまなんだ
- ・今まで普通だと思っていたことが他の国では普通じゃなかったり当たり前じゃないということ
- ・今日までアパルトヘイトの内容をあまり理解していませんでしたが、染谷さんの強い気持ちと歌が心にとても響きました
- ・人権とか正直そこまで身近ではないことだと思っていたけど、そんな遠い話じゃなくて、まずは身近なところから、一人だったり苦しうだったり寂しううな人だったりつらううな人に手を差し伸べられる人になろうと思った
- ・人権問題や、差別などの問題は昔の話で自分にとっては遠い話だと思っていたけれど、今回の人権講演会を受けて自分が考えているよりも最近のことで身近な話だと知りました
- ・世界には色々な人がいて大変な思いをしている人がいること そしてその人を助けることができるということを知った
- ・一人で悩みこんでる子がいたら積極的に助けてあげるということ
- ・人権問題は意外と近くにあることがわかった
- ・人権とだけ聞くと難しいなと感じるけれど、一人ひとりが相手のことを意識することで人権が侵されることを防ぐことができると感じました
- ・私達がすべきことは人権がどうか難しいものではなく、人としてどうあるか、正しいことをできるかどうか大切だと感じました
- ・昔のことではなく、今を生きる人に当てはまることだとわかりました
- ・人権、差別問題は昔にあったものじゃなく、今もなおあるものだとわかりました
- ・夢を叶えられるのは最後まで諦めない人だけだということ。自分で思い切って行動することはとても大切なんだと理解した
- ・人の出身地や肌の色髪の色などで人を差別したり傷つけたりすることは決して許されず人としてあってはならないことだと改めて理解することができました
- ・簡単なことでも人権を大切にすることに繋がるということ



- ・辛いことやしんどいことや悲しいことが起こったときに、絶望するだけではなく、染谷さんのように、夢を見つけて夢に向かってできることをがんばり、目指し続けることで未来は変わるのかなと思いました
- ・分からないだけで今でもきっと誰かが差別やいじめを受けているんだと思った。それに気づいて寄り添える人間になりたいと思った
- ・人権理解から、差別をなくす方法はとても簡単なことだと改めて思った
- ・人権というのは難しく考えず、人のことを考えられているかということ
- ・諦めないことの大切さ、誰かに手を差し伸べる力の必要性、結果ではなく努力の過程が重要だと理解した
- ・差別などをなくすためには、まずは近くにいる人から声をかけていくことが大切ということがわかった 自分が相手を傷つけないようにしようと思った
- ・音楽の大事さ人権についてしることができた
- ・一人一人には世界を変える力があり、自分には居場所が必ずあるし、居場所を作ることでもできるということを理解することができました
- ・どんな事があっても自分の夢を諦めずに頑張ることと友達との時間を大事にすること
- ・人権はだれにでもあるものと思いました 国境を超えてでも全員に存在することを改めて理解しました
- ・一人ひとりが偏見を持たず思いやりを持つことが大切
- ・人権についての差別はすぐには無くならないということを知りました
- ・誰にでも手を差し伸べられる力があることを理解しました
- ・人権は難しいものだと思っていたけど、とても大切なことなんだなと思いました
- ・人権は地球人全員が持っていて、平等で自分の身近な存在であることを理解した
- ・とても説得力があっかかりよかったです
- ・人権と聞いて難しいイメージばかり持っていたけど、今、周りで困っている人のはなしをきいたり声をかけることが大事なんだとすごくわかりました
- ・人権問題はとても大きい規模の問題であって難しい話だと思っていたけれど、そんな難しい話ではなく、一人でいる人のところに駆け寄れるか、勇気を出せるかということからあるということを知れた
- ・誰でもいじめや差別から人を助ける力を持っているということ 大きな規模に限らず日常にも同じことが言えること
- ・みんな同じ人間なのに、外見などで区別して、人々の自由を奪って、死にまで追い込むようなことがある差別はもう金輪際関わらないようにしようと思いました
- ・差別は良くないとわかった FUNKIST というバンドを知れた
- ・実際に色んなことを体験してきた人の説得力は本当にすごかった 人生何事にも諦めずに生きようと思いました
- ・人種や肌の色だけで差別をすることは違うことだという事について実体験があった人から聞くことができて貴重な経験になりました
- ・ファーキーズというバンドを初めて聞き、歌も初めて聞いて自分がどれだけ苦労して生きていないかわかりました そして、諦めないことがいかに大事か気づくことができました



- ・生まれた環境が違うだけでいじめなどを受けることがあるんだと改めて実感しました　しかし、諦めなければ人々は分かり合えるんだと知りました
- ・どれだけ差別という言葉が人の心を傷つけるのか、河南高校でももっと今日みたいな人権問題や、差別、多様性についての授業を取り入れるべきだと思いました　今日の講演会泣くほど良かったです
- ・今まで人権というのは難しく理解がしにくいものだと思っていましたが、今回の公演を聞いて人権問題やいじめを無くす方法は意外と身近にあるものだということを理解しました
- ・死ぬのはもったいないということを心に留めようと思いました
- ・学校で教えられてきた知識は実際の出来事よりとても浅いものだったんだと感じました。世の中にはあまり深くは語られない出来事があるのだと知った　音楽の凄さも知った
- ・差別の原因や当事者の苦悩　人の居場所を決めるのは他の人じゃなく自分自身で決めることができるということと、居場所は作れるということ　夢を諦めないことの重要性
- ・自分も含め誰にでも人を救う力がある
- ・心の傷は簡単には消えない
- ・人種関係なく人というのは一つになれるのだということ
- ・国の大きな決まりはすぐに変えることはできないけれども、小さなことでも少しずつ変えて行けるのだなと思いました
- ・アパルトヘイトという言葉の意味は知っていたけど詳しくは知らなかったし、紆余曲折や染谷さん自身の悩みや葛藤も聞いてとても考えさせられるものがあった　友人の存在や当たり前で過ごしている日常はとても幸せなことなんだと思えた
- ・肌の色は関係ないとわかった　音楽の力は無限大だとわかった
- ・人権は普段の生活の中でも本当に身近な存在で友達と喋っているときなどにも気づかないうちに関わっていることだとわかった
- ・講演会を聞いて、「アパルトヘイト」を文字で見たこと、授業で聞いたことしかありませんでしたが、今日深く知れたと思います。歴史上の話ではなく、最近の話であるという事実には驚きました。今日の講演で学んだことは、人種差別だけでなく、宗教、ジェンダーの差別にも繋がることだなと思いました
- ・自分はアパルトヘイトという言葉を知っていたけどその詳しいことについて知らなかったのでもっといい勉強になったし、人権の勉強にもなった　普段身の回りにいる友だちの大切さが改めて感じられた
- ・人権は私達の身近に存在しているものなんだと改めて実感しました
- ・感心より感動しました　本当に気持ちのこもった熱いメッセージが心に響いたし、何よりも生きることの大切さを改めて感じました
- ・「人権」って難しく考えてしまうけどそうではなくて単純で当たり前でありすぎて気づかなかっただけなんだなとおもいました　自分には考えても理解できなかったことが愛で結ばれるんだなと心に響きました言葉には表現できないけど自分の中で突き刺さるものを感じました
- ・講演会を聞いて人権についてよく考えることができました　アパルトヘイトについては、学校の授業で少し話を聞いたことがあったぐらいだったけど今回当時の状況を知る染谷さんにお話を聞いて本当の恐ろしさを知りました

- ・たくさんのことが詰め込まれていて理解したことを言葉にするのがとても難しいです けどとりあえずこれからは周りの人を大切にする、自分が少し行動するだけで人の命を助けられるかもしれないことを理解しました
- ・私達の知らないところで何か心を削られてつらい思いをしている人がたくさんいるということを改めて知りました また中学校でも人権について多くの事を学びましたが今日の講演会で、もっともつと色々なことを学び発信していく必要があることを理解しました
- ・夢を叶えられるのは夢を諦めない人であり、一人で頑張ったのではなくたくさんの人の支えによって夢を叶えられたのだと思いました 差別はどここの国でも存在し、おもしろ半分ですることは人の気持ちを考えていないことと一緒にと思いました
- ・最初に染谷さんがおっしゃったように、人権講演会という名前を聞いて難しそうだなという印象がありました。ですがアパルトヘイトについて詳しく説明してくださり、今回の公演がどのような話の元進んでいくのか知ることができました 人権について中学生の頃から詳しくしていましたが、アパルトヘイトについて詳しく知るのは初めてです 私はアパルトヘイトがなくなった時代に生まれたけれど、かつてそのような酷いことが行われていたと思うと苦しくなりました また、ネルソン大統領の考え方にも感銘を受けました 自分に犠牲があっても、それを我慢してくれた人が今までに何人いるのか。今生きている時代を作ってくれた人々に感謝の気持ちが生まれました
- ・「自分の居場所がある」ことはとても大事だと思いました
- ・周りの人を大切にする。そういうシンプルだけど蔑ろにしがちなことがめっちゃくちゃ大事なんだと思いました
- ・人権はとても身近なものだと改めて感じた
- ・人の命や尊厳は絶対に守らなければならないと思いました
- ・今の自分達の日常は当たり前じゃない、だからこそ友達と助け合いみんなと手を繋いでできる大切な日々になるということが理解できた
- ・人権の考え方が自分の中で少し軽くなり、人権問題が身近に感じるようになった
- ・何度失敗しても諦めないこと
- ・自分の一声で救われる人もいるし、傷つく人もいること 他の誰かがじゃなくて自分ができる人になろうと思えました



ご講演いただきました染谷様、スタッフの皆様、ありがとうございました。

今回の講演会は、生徒の記述に「いつもの人権学習とは全然違って・・・」とあるように、これまでにない貴重な体験になりました。

「あなたの一言が誰かを助ける」

「夢を叶えたものは、夢を諦めなかった者」

引き続き、高校生へのご支援、よろしくお願いいたします。

公式サイト

[FUNKIST OFFICIAL SITE](#)

公式 Twitter

[twitter.com/SAIGOH\\_FUNKIST](https://twitter.com/SAIGOH_FUNKIST)